

第 2 号議案

事業計画書

－ 2026 年度 －

(第 18 期)

自：2026 年 4 月 1 日

至：2027 年 3 月 31 日

1 基本方針

「オープン CAE に関する技術情報の共有を進める」および「オープン CAE に関する普及活動を展開する」を実現するために、以下の活動を行う。

1. 講演会、研究会、セミナー等の開催
2. 会誌、書籍等の発行
3. インターネットを活用した情報発信、コミュニケーション活動
4. 研究の奨励、助成、および研究業績の表彰
5. 講師の派遣、紹介
6. 国内外の他学会等との交流、協力

2 事業活動計画の概要

前述の基本方針に沿って、以下のような事業活動計画を策定した。

2.1 第 17 回定時社員総会

開催日時	2026 年 6 月 13 日 (土曜日)	17:00~18:00
開催場所	亀戸文化センター	
議事 報告事項	第 1 号報告	『2025 年度事業報告』
決議事項	第 1 号議案	『2025 年度決算報告』
	第 2 号議案	『2026 年度事業計画』
	第 3 号議案	『2026 年度収支予算』
	第 4 号議案	『2027 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』
	理事会報告他	

2.2 公益目的事業

2.2.1 催事

2.2.1.1 社員総会の開催 (実行委員長：中川会長)

開催日時	2026 年 6 月 13 日 (土)
開催場所	亀戸文化センター第 2 研修室 (議決をとらないオンライン配信あり)
開催内容	定時社員総会、情報交換会

2.2.1.2 オープン CAE トレーニング (実行委員長：酒井理事)

開催日時	2026 年 6 月 13 日 (土)
開催場所	亀戸文化センター 第 2 研修室、第 3 研修室とオンライン配信のハイブリッド
開催内容	講習会 (SalomeMeca 構造解析入門と初級、OpenFOAM 熱流体解析入門と初級、Optuna を用いた OpenFOAM 境界条件の自動最適化、OpenModelica による電気-熱連成解析)

2.2.1.3 オープン CAE シンポジウム 2026 (実行委員長：福江理事)

開催日時	2026 年 11 月 11 日 (水)、12 日 (木)、13 日 (金)
開催場所	金沢市文化ホール (石川県金沢市高岡町 15 番 1 号)
開催内容	一般講演、基調講演、トレーニング等

2.2.1.4 オープン CAE サマースクール 2026 (実行委員長：高木理事)

開催日時 2026 年 8 月 28 日 (金) ～8 月 30 日 (日)
開催場所 スズカト (三重県鈴鹿市)
開催内容 OpenFOAM 中級編：メッシュ作成

2.2.1.5 オープン CAE 講習会 (実行委員長：酒井理事)

開催日時 2027 年 3 月頃
開催場所 未定
開催内容 未定

2.2.2 委員会活動

2.2.2.1 学術研究委員会 (委員長：大島理事)

オープンソース CAE ソフトウェアに関する学術研究的な活動を行う。必要に応じてテーマ別の小委員会を設置する。2026 年度は 2025 年度に引き続き、4 小委員会体制とする。

2.2.2.1.1 V&V 小委員会 (委員長：出川理事)

オープンソース CAE ソフトウェアの V&V 事例ケース、および V&V に利用するための検証問題を、学会の Web ページやリポジトリに整備する。他学会における V&V に関する活動 (V&V、シミュレーションの品質保証、ワークショップ等) を調査し、有用な活動は取り込んでいく。また、オープン CAE ソフトウェアの V&V 勉強会にて、計算の検証 (Calculation Verification) と計算結果の妥当性確認 (Validation) を行い、資料を蓄積する。蓄積した資料は Web 以外の媒体でも頒布する予定である。

2.2.2.1.2 モデルベースデザイン小委員会 (委員長：西理事)

モデルベースデザイン分野のオープンソースソフトウェア利用推進を目的として活動する。対面を前提としつつ、オンラインにも対応した開催による利用推進活動を強化し、トレーニングを企画、運営する他、小委員会主催もしくは他学会との協賛もしくは共催のセミナー開催を検討する。また、オープン CAE シンポジウムのセッション等を企画し、運営する。

2.2.2.1.3 HPC 小委員会 (委員長：大島理事)

HPC 環境におけるオープン CAE ソフトウェアの活用についての活動を行う。具体的には、スーパーコンピュータシステムやクラウド環境におけるオープン CAE ソフトウェアの性能検証や性能改善、シンポジウム等における情報共有を行う。得られた成果はオープン CAE シンポジウムや他学会イベント等にて公開・共有する。

2.2.2.1.4 AI・機械学習小委員会 (委員長：片山)

オープン CAE ソフトウェアにおける AI・機械学習の活用についての活動を行う。具体的には、オープンソース CAE と AI 技術の連携手法を確立し、データサイエンス分野での活用可能性を追求するとともに、得られた成果を報告会にて広く公開・共有する。報告会では有識者による基調講演も計画しており、技術コミュニティの活性化を図る。また、有償 LLM を用いた開発ノウハウや適用事例の調査を行い、その知見を会員へ還元する。さらに、無償・有償ソフト問わず、AI・機械学習による作業補助や分析の自動化を見据えたオープンソースとして公開可能なプログラムやスクリプトの開発・提供を通じて、解析作業の利便性向上のためのノウハウを公開・共有する。

2.2.2.2 広報・コミュニティ委員会 (委員長：森本理事)

会員向けのニュースレターの発行、メール配信による広報活動を充実させる。賛助会員との定期的な意見交換及び、一般会員への紹介の企画を実施する。

学会後援勉強会は見直した後援規定に基づき、新規申請を受付、後援済勉強会については継続確認を含めて再申請を依頼し、コミュニティの後援を続ける。

コミュニティの活性化のために YouTube、X（旧 Twitter）、Wiki を通した情報発信を行う。

2.2.2.3 Web 編集委員会（委員長：高木理事）

Web コンテンツを充実させ、シンポジウムや各種講習会などの学会イベント情報及び会員に有益となるオープン CAE に関する情報を速やかに発信する。また、セキュリティ対策および保守性の向上を施し学会 Web を恒常的に運用する。

2.2.2.4 出版・編集委員会（委員長：高木理事）

オープン CAE 論文集および技術報告の定着化、活性化を目的とした活動を実施する。2025 年度に創刊した学会誌については、四半期ごと（年 4 回）に継続して発行する。また、必要に応じて、オープン CAE の発展や普及に寄与する文書の書籍化をサポートする。

これにより、学会誌等の企画・編集・発行を通じて、会員にとって有益な情報を継続的に提供する。

2.2.2.5 国際化推進委員会（委員長：中川理事）

本学会の活動内容や日本国内でのオープン CAE に関わる活動の状況を英語で発信する。他の委員会と連携し、国外の機関との協働を進める。

2.2.2.6 講習会委員会（委員長：酒井理事）

総会付帯講習会やオープン CAE シンポジウムにおいて、OpenFOAM などのオープン CAE ソフトウェアや関連の Python やデータ分析などの計算技術等についての講習会を実施する。また若手向けのサマースクールのほか春季講習や地方での講習会も引き続き企画する。なお具体的な内容については、都度、大会実行委員会や理事会で検討し決定する。また会員の要望等により、別途、AI・機械学習小委員会やモデルベースデザイン小委員会、HPC 小委員会などと協力して、単独講習会も企画する。

2025 年度から日本機械学会計算力学技術者資格認定事業の協賛団体となったため、本学会のイベントへの参加により業務継続証明書に代わるポイント取得が可能となっている。

2.2.2.7 資料翻訳委員会（委員長：小山）

オープン CAE マニュアルや教材等の資料の翻訳に、会員有志の要望等に応じて取り組み、その成果を公開する。翻訳対象については広く会員からの要望を受ける。ParaView Documentation の和訳について、開発元とも連携しながら取り組みを継続する。OpenFOAM ユーザガイド（OpenCFD 社版）の翻訳にも取り組む。

2.2.2.8 表彰委員会（委員長：福江理事）

表彰に係る規定の策定に取り組む。受賞者情報の整理とウェブページの更新を行う。2026 年度の受賞者選定および表彰準備を実施する。

2.2.2.9 情報セキュリティ委員会（委員長：川畑理事）

学会の情報セキュリティに対するガイドラインの策定、運用を行う。理事および事務局に対し、情報セキュリティに関する情報の共有、教育を行い意識を高めるとともに、インシデント発生時に対応指示を行う。

2.2.3 講師派遣事業

当学会ホームページに、講師派遣の可能なテーマや事例等を掲載し、地方の勉強会支援や企業等の個別講習会開催の要望に対応する。